

一般質問



福本 議員

○松浦市の第一次産業に対する振興策について

**質** 第一次産業で本市を活性化していくために、市としてどのように取り組む考えか伺います。

**農林課長** 国内外への多様な販路拡大を達成するため、県内の複数の自治体と連携し事業展開されている(一社)離島振興地方創生協会と令和7年度から委託契約を締結しました。市場価格の変動の影響を受けやすいブロッコリーの産地形成と所得向上を目指し、実証販売などに取り組んでいます。

**水産課長** 松浦産水産物を盛り上げる取り組み事例として、毎年秋に開催しているおさかなまつりや、秋から冬場にかけてのしらす&とらふぐグルメフェアなどがあります。また、トラフグ認知度向上のため、学校給食にトラフグの唐揚げの提供などの支援を行っています。

**質** 第一次産業を持続可能で稼げる産業へと転換することが、本市の将来にどのような意義を持つと考えているのか伺います。

**市長** 農業・漁業所得が向上し、稼げる産業としての魅力が高まることで、若者の新規就業や後継者の定着

が促進され、高齢化や人手不足の解消、定住人口の増加が期待されると考えています。また、農家・漁家の所得向上は地域全体に恩恵をもたらすものと考えています。

○離島の生活支援について

**質** 市として、離島(青島地区)医療の課題をどのように捉えているか伺います。

**健康ほけん課長** 青島診療所については、青洲会病院から医師の派遣を受け、毎週火曜日と金曜日の午後診療を行っています。診療提供体制や救急搬送体制の改善が課題と考えています。

**質** 離島医療の課題に対するさらに踏み込んだ対策をお考えか伺います。

**健康ほけん課長** 診療提供体制としては、ICTを活用したオンライン診療の導入を検討しており、救急搬送体制については、交通船を使用した搬送を検討しています。

**質** 地元の若者が医療職を志し、離島医療に関わる仕組みづくりが重要だと考えますが、市の見解を伺います。

**市長** 郷土を担う人材の育成を掲げ、ふるさと教育として、地域のひと・もの・ことについての体験活動など、郷土に関する学習の充実に取り組んでいるところであり、引き続き、離島医療に限らず、地域に必要な人材を確保するために取り組んでいきます。

一般質問



小川 議員

○星鹿地区の子育て環境について

**質** 星鹿小学校への特定地域選択制・特認校制の導入、星鹿地区の空き家バンクの現状、公営住宅がない問題、星鹿小学校に通わせたい、星鹿に住みたいという声には応えられていませんが、市としてどう市民の要望に応えていくのか見解を伺います。

**教育長** 本市の規模から考えて、特認校は一つと考えているため、星鹿小学校を特認校制にする考えはありません。

**市長** 空き家の活用については、先進的な取り組みを実施している自治体の事例などを参考にしながら、空き家になる前の段階で今後の活用を考えてもらえるような取り組みも検討していきたいと考えています。具体的には、先進事例等を調査する中で、空き家を活用するためにはどのような手続が必要かということから多くの方々に説明をするようなセミナーも開催されている事例もありますので、こういったことも選択肢の一つとして本市で実施できないか、検討したいと思えます。加えて、活用が難しい空き家について

は、除却支援補助金、解体をするための補助金の活用を促して、その跡地の活用を併せて進めたいと考えています。

**質** 小学校区単位では、上志佐小学校区にも公営住宅がない現状です。そういうことから、空き家に対する

リフォームや解体に要する費用を周りの地区よりも少し手厚い補助をすることで、公営住宅に代わる、住める家を増やすための施策になると思っています。ぜひ公営住宅建設に近い住宅整備が今後できないか伺います。

**市長** 星鹿・上志佐地区においては公営住宅がありませんが、基本的には新しい市営住宅を建設する計画がないので、まずは令和8年度に空き家実態調査を実施し、活用可能な空き家の把握を行いたいと思います。さらには所有者の意向を確認しながら、空き家バンクの協力事業者、空家等管理活用支援法人、まちづくり運営協議会、関係自治会と連携し、住宅としての活用を進め、市営住宅がない星鹿・上志佐地域においては、現在、市で実施している住宅に係る補助金、例えば定住奨励金、空き家バンク利活用推進事業補助金、老朽危険家屋除却支援事業補助金等の拡充を含め、住宅取得に関する支援を検討したいと考えています。